

二祖真教上人七百年御遠忌 平成31(2019)年

前回ご案内したように今回号から丸1年かけて、上記の「二祖真教上人700年御遠忌」に向けての記事を掲載したいと思います。

◆まず御遠忌とは、いったい何なのでしょう？

それは各宗派の宗祖や高僧の年忌を50年、100年とまとまった時に行われる法要のことです。時宗では特に、宗祖一遍上人とこれからご説明する二祖真教上人の御遠忌法要が伝統的に行われています。

◆次に、では二祖真教上人とはどのような方なのでしょう？

時宗の宗祖一遍上人は、「遊行」に身命を投げ打たれたご生涯でありましたので、寺院を建立することや教団を創立する考えはありませんでした。

しかし、その意思に反して、一遍上人が亡くなった後もそのお姿を慕う人々や教えを相続して欲しいという声は絶えませんでした。その声にこたえる形で遊行の法灯を継承し、実質的に教団を築かれたのが、二祖（2代目の意）真教上人です。

真教上人の出生は豊後（大分県）とも京都とも伝わっており、一遍上人と出会う前までの経歴の多くが不明です。そして建治3年（1277年）真教上人41歳の時、九州を遊行していた一遍上人に出会い、教えに感銘をうけ、お弟子とされました。その時「他阿（他阿弥陀仏）」の名を授かり、「他阿真教」として以後12年間一遍上人と遊行を共にされます。（真教上人はこの「他阿」の法号を、以後の上人にも名乗らせます。*現在の74代目のお上人は「他阿真円上人」です。）



（上写真は普照院蔵 真教上人絵）

そして法灯を継いだ（1289年）真教上人は、その後3代目となる他阿智得上人に法灯を譲るまで約15年間遊行を続け、さらにその後は現在の神奈川県相模原市南区にある無量光寺に住し、文保3年（1319年）そのお寺において83歳で示寂されます。

その残された多くのお手紙・和歌・法語などから一遍上人の真の後継者として、その身を捨てて、衆生済度に尽力されたお姿がうかがえます。

・25年後には日本の寺の3分の1が「消滅」する

このようなお寺にとっては衝撃的なタイトルの記事が掲載されるようになってから、数年が経過しました。これは実際に始まっている現象であり、戦後70年以上が経ち、生活・社会構造が大規模に変化した中で、それともなう少子化、過疎化が大きく影響しています。仏教は本来、「世は移ろう（諸行無常・諸法無我）」をその教えの根本としていますので、必要のないものは滅びることはやむを得ないという姿勢ですが、その流れに「のまれる側」であって良いわけではありません。

ところでこのようなお話をお檀家さんともすることが多くなる中、「葬儀会社と提携して檀家さんを増やすことはできないのですか？」という至極ごもつともなご意見を頂戴することがあります。ただ経験された方はよくご存じだと思いますが、葬儀屋さんから紹介されてやって来る僧侶と喪主家のトラブルが絶えません。それは毎日毎日、各葬儀店舗から提携したお寺にお葬式の依頼があり、以前葬儀の依頼のあったお家の法事等のお付き合いより、次に入った新しい葬儀を選ぶような僧侶になってしまう方がほとんどです。私は葬儀会社との派遣提携はしてきませんでした。

少なくとも、普照院というお寺はおかげさまで年々塔婆供養や法事等の件数も増加してきていますし、この寺報をお送りさせていただくお家も増えています。では当寺院のお檀家さんが、少しずつでもなぜ増えているのでしょうか。その理由はただ一つ、

『お檀家さんが、お檀家さんを紹介していただいているから』

です。特にご兄弟などの分家さんや奥さんのご実家・娘さんのご家族などをご紹介いただくことです。ここで意外とこの紹介の障害になっていることの一つに、これまで「普照院に全く縁がなかった方を紹介するのは、住職に迷惑なのではないか？」「宗派が違うとお願いできないのでは？」とされている方がおられることです。

それらは全く当寺院では問題ありません。これからの普照院のためにも、どんなに急な時であってもお困りの方がおられたら、是非ご紹介いただければと思います。

〔編集後記〕

先月の初めに、息子と共に世界遺産でもある『熊野古道』を歩いてきました。ご存知の方もおられると思いますが、この熊野古道と熊野本宮大社は、当寺院の宗旨である時宗（じしゅう）の宗祖一遍上人が悟りを開かれた場所です。ここを息子と完歩できたことは、本当に感無量の二日間でした。

合掌

発行；[時宗 慈光山 普照院] 責任者 小田義宗

☎652-0853 神戸市兵庫区今出在家町4-1-29

電話 078-671-1787 ファックス 078-330-1187

ホームページ <http://fusyoin.com/>



これからは、お寺もどんどん情報を発信します。

とくに次世代をになう、若い方々・お子様たちに教えてあげてください。

